

2025年冬期の摩周湖の全面結氷予測レポート
2025年1月15日時点での予測およびその後の状況

北見工業大学
亀田貴雄

・2025年1月15日での予測

摩周湖の全面結氷日は2025年3月2日±11.6日(2月18日～3月13日)と予測した。ただし、1974年冬期から2023年冬期までの50年間の観測で摩周湖が最も遅く全面結氷したのは3月2日(2005年)のため、2025年冬期の摩周湖は全面結氷しない可能性が考えられる。

・2025年冬期の摩周湖の状況

1. 摩周湖の結氷状況

摩周第一展望台での(株)弟子屈町振興公社の担当者による現地観測および摩周第三展望台に設置したインターバルカメラによると、摩周湖は2月1日から3月20日まで、3月8日を除くとまったく結氷していない。3月8日は摩周湖の北部の湖岸で5%以内が薄氷になっていることを観察した。ただし、2月4日、8日、9日、13日、14日、19日、20日、3月7日、14日、15日は視界不良のため欠測であった。

2. 川湯の気温と摩周湖の結氷との関係

図1に気象庁による川湯アメダスの日平均気温を示す。2024/25年冬期の川湯の日平均気温は、12月上旬までは平年並、12月中旬と1月上旬には平年以下の日もあったが、1月6日以降は顕著な暖冬となった。暖冬は3月14日まで継続し、3月15日以降は平年値に戻った。2025年シーズンは2024年夏期の暖かさに加えて冬期が暖冬になったため、摩周湖の結氷は進まなかったと考えられる。

川湯での日平均気温が -15°C 以下の日が6日以上あると、亀田(2023)で報告したように、摩周湖は全面結氷する可能性はある。ただし、今シーズンの川湯の日平均気温が -15°C を下回ったのは1月3日(-15.1°C)のみであり、今後日平均気温が -15°C より下がる見込みはない。なお、現在の摩周湖の表面水温は低くなっているため、日平均気温が -10°C の日が続くと結氷が進む可能性は考えられるが、今後、日平均気温が -10°C 以下の日が続く見込みはない。このため、2025年シーズンの摩周湖は全面結氷しないと考えられる。

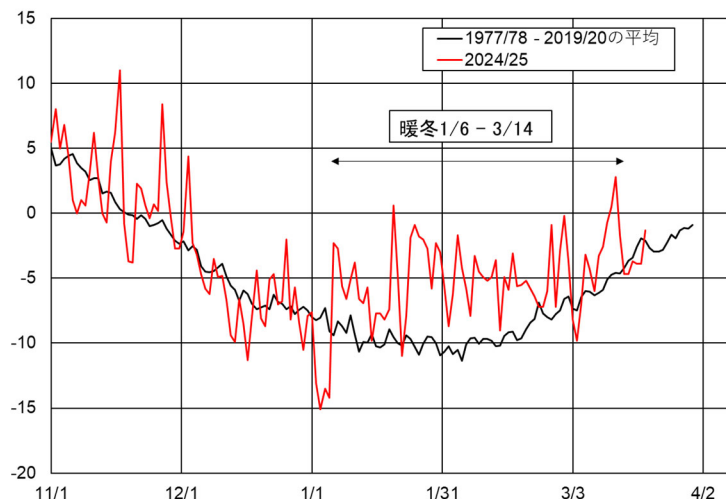


図1 川湯アメダスの日平均気温の推移(暖冬期間を両矢印で示す)。

(赤線：2024年11月1日～2025年3月20日，黒線：1977/78～2019/20年の平均)

引用文献

亀田貴雄(2023): 摩周湖の全面結氷日の予測—2023年の結果と2024年の予測—. 陸水物理学会会報(第44回研究発表会, 2023新潟大会), 11–12.